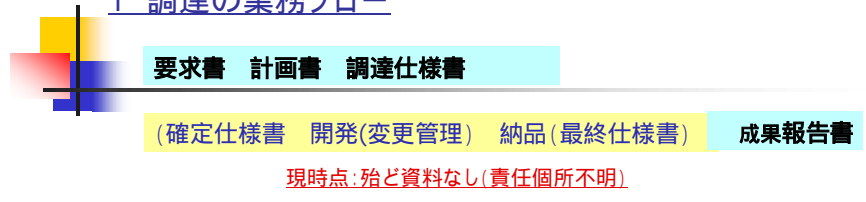


情報システム化と課題

1 調達の業務フロー



2 課題(大学側の)

大学側作成

要求書: 業務改善、システム融合化(最適化)、費用(投資+運用・保守費)対効果(顕在、潜在)、工期等

計画書

・目的、開発機能(特に他システム関係)、開発体制(責任)・運用体制(責任)、費用(TCO:投資+運用・保守)、効果(顕在・潜在)の明記

成果報告書

・責任部門が中心に計画書に基づいて、開発費用実績、顕在効果(人員削減、業務コスト削減...)と潜在効果を評価
・業務変更結果の状況
・システム融合化の状況 等

調達仕様書(例示)

・要求機能(特に他システム関連)、開発体制(ベンダー個人の能力表、品質保証方法)、同様なシステム実績、利用予定状況(要求性能)、運用・保守方法、利用者システム運用者への教育、納品物(業務フローと画面遷移図)等のユーザ側の要求を明記
(システム構築技術はベンダーに担保させること)

ベンダー作成

、 、 : 殆どなし

・ベンダー作成物に利用者が判断・利用可能な書類を含む
例: 業務フロー図と利用者毎の画面(操作遷移図)
・システム構成/アプリケーション構成図、データファイル(テーブル)構成図
・性能保証シミュレーション結果(利用頻度と性能関連等)